

## 令和5年度 事業報告

### 1. 公益目的事業の推進

本財団の事業は、広島原爆被爆の記憶を原点として、世界平和都市広島としての責任と義務を果たすべく、国際平和の実現とより密接な国際交流を図り、平和の啓発活動を推進するため、下記の事業を実施した。

#### (1) 第35回 谷本清平和賞

この賞は、本財団の発起人であり日本キリスト教団広島流川教会の牧師であった谷本清氏が、被爆後世界平和のために活躍された功績を継承し、さらに世界が平和であることを願って、毎年平和のために貢献した人(含む団体)を表彰する。

第35回目の「谷本清平和賞」は、公益財団法人広島平和文化センター理事長を2007年から2013年まで務められ、現在、NPO法人 Peace Culture Village 代表理事のスティーブン・ロイド・リーパー氏に授与した。リーパー氏は、外国人として初めて広島平和文化センター理事長に就任され、平和市長会議の活動や全米における原爆展の開催、国際交流・協力事業を指揮されるなど、広島から世界に向けて核兵器廃絶を訴える広範な活動を展開された。現在も、アメリカと日本を行き来しながら、若者たちとともに平和について考える取り組みや平和に関する講演を各地で行い、平和活動を通じた国際交流の振興、とりわけ世界平和を訴え続けている。

#### (2) 第32回 世界平和弁論大会

世界平和に対する関心を高め、平和の意識を高揚し啓発することを目的として、外国人留学生による日本語の「世界平和弁論大会」を開催した。7カ国から10名が発表した。

- 第1位 ラウラ・マリー・パロ (エストニア出身・広島中等教育学校)
- 第2位 姚 蘇男 (ヨウ・ソナン) (中国出身・広島工業大学)
- 第3位 ハンナ・シャネ (フランス出身・広島女学院高校)
- 第4位 ジョアンナ・マンドル (オーストリア出身・広島女学院高校)
  - 盧 佳令 (ロ・カレイ) (中国出身・広島工業大学)
  - 徐 璋呈 (シュウ・ウェイチェン) (台湾出身・清水ヶ丘高校)
  - 劉 朝陽 (リュウ・チョウヨウ) (中国出身・広島工業大学)
  - ポール・ジョナサン・ハイマン (ドイツ出身・舟入高校)
  - ミゲル・メイ (コスタリカ出身・広島県瀬戸内高校)
  - 李 亜俐 (リー・アリ) (中国出身・広島工業大学)

#### (3) その他の事業

該当なし